



協会二世 旭川 中長期的に人材確保を

旭実高普通科で防災出前講座

旭川建設業協会二世会は26日、同会初の出前講座を旭川実業高で開いた。最近の担い手不足を踏まえ、即戦力の理系ではなく、中長期的な人材確保の観点から、普通科進学コースの生徒を対象に実施。避難所運営ゲーム「HUG」を通して、災害時における住民支援の重要性や建設業の取り組みを知ってもらった。

旭川建設業協会二世会は26日、同会初の出前講座を旭川実業高で開いた。最近の担い手不足を踏まえ、即戦力の理系ではなく、中長期的な人材確保の観点から、普通科進学コースの生徒を対象に実施。避難所運営ゲーム「HUG」を通して、災害時における住民支援の重要性や建設業の取り組みを知ってもらった。

旭川建設業協会二世会は26日、同会初の出前講座を旭川実業高で開いた。最近の担い手不足を踏まえ、即戦力の理系ではなく、中長期的な人材確保の観点から、普通科進学コースの生徒を対象に実施。避難所運営ゲーム「HUG」を通して、災害時における住民支援の重要性や建設業の取り組みを知ってもらった。

とやりがいを語った。

HUGは、旭川実業高グラウンドに集まった約100人を体育館や教室に移すという設定。1年E組36人が6班に分かれ、住民を次々と誘導した。生徒は「ゲームですら慌ててしまうので、実際はもっと大変だと思った」など感想を話していた。

講座を終え、花本建設の花本金行社長は「大半は大学や専門学校へ進学すると思うが、就職を考える4、5年後に実を結ばば」と話していた。

(旭川)